

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 ステップワン湯本校

保護者等数(児童数):20家庭(23人) 回収数:家庭 割合 95%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	2	0	・室内の活動という意味では十分だと思う。 ・子供の体が大きくなってきたので、少し狭くなってきたように感じる。	・体を大きく動かす活動は、屋外で取り組んでいます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	19	0	0	知識が豊富な職員さんが多く、安心して子供を預けられる。	事業所内外での研修に参加し、専門性を高めてられるよう努力しています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になさ	16	3	0		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	19	0	0	モニタリングの時に親の要望を聞いて対応してもらえる。	お子様に合った計画が立てられるよう、職員間で話し合っています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	19	0	0	子どもが色々な体験が出来て楽しいと言っている。	お子様の能力に合わせた活動や、季節毎の活動などを取り入れ活動が固定化されないように、職員間で話し合っています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	10	1	慣れない人や場所だと混乱してしまうので、交流はなくてもいい。	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	0	0	書面でも口頭でも、丁寧に説明してくれている。	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19	0	0	どんな小さな悩みにも、真剣に対応してもらってありがとうございます。息子と私の支えになってもらい、感謝しています。	ご家庭の様子や事業所での様子、課題等を話し合い、共通理解につなげています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	0	0	悩みがあるときに相談すると助言をしてもらえる。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	11	3	職員さんが親身になって話を聞いてくれるので必要性を感じない。	皆さんの意見を取り入れて、今後開催していきたいと思えます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	2	0	・不満や苦情につながることはない。 ・苦情を言ったことがないのでわからないが、契約の時に苦情受付窓口の説明をされた。	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	1	0	PECSを使ってきている。	お子様に合ったコミュニケーションの方法を探し、支援につなげています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19	0	0	・定期的にブログやステップワンだよりで活動報告をしてくれる。 ・子供がステップワンだよりを大事そうに保管している。	・毎月ブログでの活動報告と、年4~5回のステップワンだよりでの活動報告をしています。 ・この自己評価については、書面でお渡しした他に、ホームページにも載せています。
14 個人情報に十分注意しているか	19	0	0	・ブログでは、子供の顔を隠してくれている。 ・学校などと情報共有する時は、事前に連絡をくれて共有していいか確認してくれる。	不要となった個人書類等は適切に処理しています。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	2	0	契約の時に丁寧に説明してくれている。	契約時に説明させて頂き、書面でもお渡ししています。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	2	0	ステップワンだよりに避難訓練の様子が載っていた。	計画に則り訓練を実施しています。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	18	1	0	とても楽しみにしている。	
	18 事業所の支援に満足しているか	19	0	0	子供に合わせた支援をしてくれていると思う。	
送迎 対応	19 送迎は正しく行われているか	19	0	0		安全装置を設置し、置き去り防止に徹底しています。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 1日

事業所名 ステップワン湯本校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			・利用定員に対する設置基準は満たしています。 ・室内での活動には十分なスペースであると考えております。	体を大きく動かす活動については、屋外で取り組んでいます。
	2	職員の配置数は適切である	○			利用定員に対する設置基準を満たし、更に加配職員も配置しております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		玄関に段差があります。	配慮が必要な利用者様が利用される場合の準備は整っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			業務改善のための会議を開催し、様々なことについて話し合い、改善努力をしています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者様のご意見は全職員で共有し、検討すべき項目については会議等で話し合い、迅速に対応できるようにしています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページ上で公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	当事業所では第三者評価を行っていません。	
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			コロナが落ち着いた、対面での研修が増えたので、県内外の研修に積極的に参加しています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			様々なアセスメントを行い、ニーズや課題を職員全体で検討し、放課後等デイサービス計画の作成をしています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			必要に応じて標準化されたアセスメントツールを活用し評価を実施しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			活動に当たっての留意事項や、注意点などの検討を職員全員で行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			職員全体で活動内容の立案を行い、活動プログラムが固定化されないよう工夫をしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			課題については、職員全体で話し合い、個々の特性に合わせた物を設定し取り組んでいます。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			モニタリングや、振り返り等で本人に合った計画を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			必ず打ち合わせを実施し、利用児童の確認、支援内容の役割分担等について確認し、職員間で情報を共有しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			特に気になったものについては、その日のうちに話し合い、それ以外については翌日の朝のミーティングを利用し、共有しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			こまめに記録を取ることを徹底し、その結果を検証し、改善につなげていけるよう努力をしています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			6ヶ月に1回以上のモニタリングを実施し、必要に応じた計画の見直し、作成をしています。また、3ヶ月経過時に中間評価を行い、計画に変更が必要な場合には保護者様と相談し、計画の変更を行っています。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			複数組み合わせ、スモールステップで成功体験を増やせるようにしています。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者、児発管が参加することを原則としていますが、より精通した者がいる場合には、その者が積極的に参加できるように努めています。		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○	学校側から情報を提供してもらえない場合がある為、保護者様から連絡をしてもらっている学校があります。		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			○	現在、医療的ケアが必要なお子様のご利用はありません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			保護者様の同意を頂き、就学前機関との情報交換を行い、計画作成をしています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			○	年齢的に、移行した利用者様がいません。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			障がい児通所支援事業所連絡会や地域のネットワーク会議等に積極的に参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	普段と違う場所や、慣れない人との交流が苦手な利用者様が多い為、安定して過ごして頂くことを優先とし、今のところ交流や定型発達児との活動は行っておりません。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳を活用したり、送迎時に負担にならない程度の時間を使って状況や課題を話し合っています。必要に応じては、電話や事業所内での相談等を行って、共通理解に努めています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○	ペアレント・トレーニングは実施できておりません。	・ペアレント・トレーニングとしてはありませんが、対応の仕方、声かけの仕方と一緒に考えたりお伝えしたりしています。 ・職員がペアレント・トレーニングの研修を受け、今後どのように開催できるかを検討中です。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に説明し、変更等があった場合には、お知らせ等を配布し同意を頂いています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			相談等にはチームで考え、助言や支援を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	本年度は実施できませんでした。	来年度は保護者様の意見を取り入れ保護者会を開催する予定です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情については記録をして、職員会議等で話し合い検討しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			ブログや会報(ステップワンだより)で活動内容等を発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報の取り扱いについては、社内研修を行い十分に注意するよう努めています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			意思の疎通が難しい利用者様には、絵カード(PECS)や、筆談等を用いて情報伝達を行っています。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			事業所ではないが、法人で実施しているイベントにて地域住民との交流を図っています。		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルを作成して職員研修を実施し、発生を想定した訓練を実施しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回実施。避難訓練計画書に基づき訓練を実施し、実施報告書を作成、それを検討し次回の訓練に生かしています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		法人内に虐待防止委員会を設置し、虐待防止研修会や、権利擁護研修会に参加したり、虐待防止マニュアルを活用し社内研修をおこなっています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		必要な時には個別支援計画書に記載し、保護者様の同意を得ています。方法や時間については、必要最低限となるよう職員間で話し合い決定しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギー情報については保護者様から情報提供をして頂き、医師の指示がある場合にはそれに従った対応をしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ファイルにまとめ、職員誰もが確認できるようにしています。	